

1. はじめに

電線類の地中化は、従来、複断面道路での整備が中心であったが、昨今、単断面道路においても道路の安全で快適な通行空間の確保、都市災害の防止、情報通信ネットワークの信頼性の向上といった道路の質的向上を目的に地中化をする動きがある。それに伴って、街なみ環境整備事業などの一環として、統一性のある街なみ、良好なコミュニティの形成、昔ながらの街なみを残した良好な景観の整備といったような事業の取り組みの中で、無電柱化は、歩道のない道路においても実施要請の高まりを見せている。(表-1 参照)

本論では、この単断面道路において工夫を行って無電柱化計画を提案した事例を述べる。

2. 計画条件

本地中化計画路線は、街なみ環境整備事業の一環として指定されている歩道のない道路である。本計画は、昔ながらの街なみを残しつつ、良好な道路景観を整備することにより、街の活性化を図り、集客性の向上を目的とした道路整備の一環として行われる。

図－１ は、本計画路線の道路幅員および、地下埋設物の状況を示したものである。本計画路線では、既存社会資本の有効活用の観点から、工事費の縮減のために地下埋設物の切り廻しを最小限に抑えるべく、電線類地中化施設のコンパクト化が特に強く求められた。

3. 計画内容

①地中化手法

地中化手法としては、各電線管理者による単独地中化方式と電線共同溝方式の2つの手法に大別できる。

現場状況および、コスト面を比較した結果、電

表-1 街なみ環境整備事業

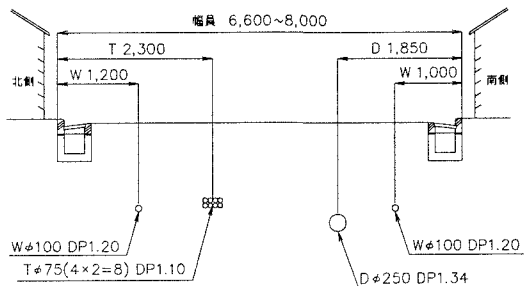
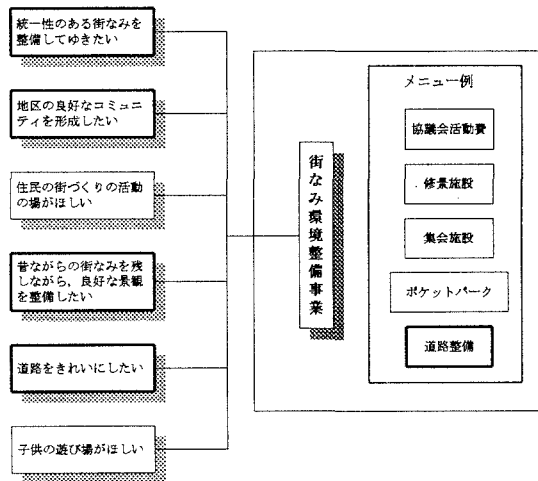
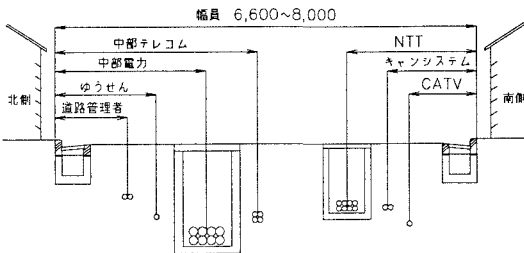


図-1 現況の道路断面



圖一 2 單獨地中化布設形態案

キーワード：雷線共同溝、単断面道路、車道布設、無電柱化

連絡先：東京都千代田区鍛冶町1丁目9番16号丸石第2ビル(株)近代設計 TEL03-3255-6460 FAX03-3251-9509

